

令和三年度

# 奈良金春会演能会

令和三年九月十九日（日）午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薦  
（旧称）奈良県新公会堂

能 樂 木 一 ル  
奈良市春日野町一〇一一番地  
電話（〇七四二）二七一二六三〇（代）

能のお話

## 能玉葛

仕舞  
邯経国

鄧政栖  
キリ

金春憲和

湯金田  
本春中  
哲嘉直  
明織樹

鄧政栖  
キリ

森久赤網原高  
山田井谷橋  
泰陽启正  
幸春子三美陸忍

鄧政栖  
キリ

茂茂  
山山  
千之丞茂

狂言昆布壳

休

二十分

狂言昆布壳

休

二十分

能融

仕舞

黒六

塚浦  
キリ

太大小笛アワシ  
鼓鼓鼓

イ門キ旅テ前  
前の源老  
者の融の翁  
者僧靈

上荒赤増原中  
田野木井田田  
義建要浩能  
悟雄作佑紀大光

アシドテ(大  
布壳名)

ド(昆  
布壳名)

本金茂  
田春山  
芳憲千之丞茂

大小笛アワシ  
鼓鼓

イ初瀬寺門前  
の者キ旅テ前  
玉葛の内侍  
僧女

森久赤網原高  
山田井谷橋  
泰陽启正  
幸春子三美陸忍

付祝言

終了予定  
午後五時頃

# 玉葛（たまかずら）

解説

中司由起子

僧（ワキ）と供の僧（ワキツレ）が大和国の長谷寺へ参詣の途中、初瀬川を訪れる。そこへ小舟を操る女（前シテ）が現れ、寄る辺ない身の上を悲しむ。女は色づく山の紅葉眺めて寺の本堂を拝むと、僧を二本の杉のもとへ導く。そして『源氏物語』に見える玉葛の昔物語を語り、自分こそ玉葛であるとほのめかし消え失せた。門前の男（アイ）が玉葛のことを語り、僧は玉葛の供養をする。すると心を乱した様子の玉葛の靈（後シテ）が姿を見せ、恋の妄執の苦しみを訴え、過去の恋を懺悔し成仏に至る。

『源氏物語』を素材とし、数奇な運命をたどった玉葛の恋の妄執を描きます。髪にまつわる言葉と垂らした髪を手にする演技が印象的。金春禅竹作。

## 融

（とおる）

旅の僧（ワキ）が都の六条河原院で汐汲みの老人（前シテ）と出会う。老人は、融の大臣が昔、河原院に陸奥塩竈の浦を模して庭を作り、難波浦から運んだ海水で塩焼きをし、数々の遊びをしたことを語る。さらに老人は都の名所の山々を教え、田子を担いで汐を汲むと汐煙の中に姿を消す。近くに住む男（アイ）から話を聞いた僧の前に、月明かりの下、融の靈（後シテ）が在りし日の姿で現れる。融の靈は懐旧の思いで「早舞」を舞い、月の都に帰つて行く。

源融は政治的には不遇でしたが、風雅に生きた人物として知られます。紀貫之の歌「君まで煙絶えにし塩竈のうらさびしくも見えわたるかな」が主題曲のようになります。世阿弥作。

## 次回予告

十一月二十八日（日）午後十二時半

能 経 政  
能 藤 戸  
金 春 康 之  
金 春 安 明

### 五枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

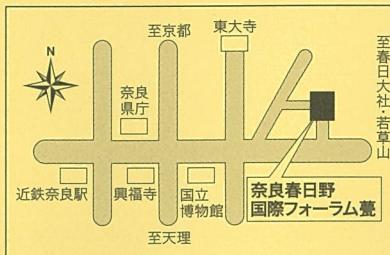
### 一般一回券

五、〇〇〇円

### 学生一回券

二、五〇〇円

### ◎鑑賞券（学生券を除く）は、奈良春日野国際フォーラム観で取り扱います。



主催 奈良県  
後援 奈良市  
（公社）金春円満井会  
お問合せ電話 (0742) 331-19720 金春

奈良春日野国際フォーラム観 能楽ホール

電話 (0742) 271-2630(代)

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩20分

- ◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム観に改称されました。
- ◎特別に許可された人以外の写真撮影・録画・録音はお断りします。
- ◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。
- ◎奈良春日野国際フォーラム観の駐車場は現在一般の方の車の受け入れをしておりません。
- 車でお越しの方は、他所に駐車場をお求めいたぐことになります。
- ◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。
- ◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

### ◎新型コロナウイルス感染症対策として

- ご来場されたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記帳をお願いいたします。（万が一の場合の追跡調査用としてのみ使用いたします。）
- 入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。
- 会場の定員は五〇〇名ですが、新型コロナウイルス感染症対策として座席数に制限をかける場合があります。